

ぶんかざいまるちなび

No.56

文化財 知ナビ

このニュースレターは、「文化財に親しむ機会の提供に関する事業」の一つとして、身近な文化財情報をはじめ、文化財を活用した事業などの紹介を行っています。
ぜひ学校教育や生涯学習の場で広くご活用ください。

文化財を^{まも}っていていこう！

文化財とは長い歴史の中で生まれ、^{はぐく}育まれ、^{こんにち}今日まで^{つた}守り伝えられてきた^{きちょう}貴重な国民的財産です。

しかしそのような歴史のある^{たてもの}建物、^{びじゅつこうげいひんとう}自然、^{のこ}美術工芸品等は、長い間残ってきたことから、^{そんざい}存在して当たり前と^{げんそん}考えてしまうかもしれません。

昭和24年1月26日に、^{せかいさいこ}現存する世界最古の^{もくぞうけんぞうぶつ}木造建造物である^{ほうりゅうじ}法隆寺の^{こんどう}金堂が^{しょうそん}焼損したことがありました。その出来事から、国は毎年1月26日を「文化財防火デー」に^{さだ}定め、^{かさい}文化財を^{しんざい}火災、^{さいがい}震災その他の災害から^{ぜんこくかくち}守るとともに、全国各地で^{ぼうさい}文化財^{おこな}防災運動を行い、^{あいご}文化財^{かんしん}愛護への^{たか}関心を高めるようにしています。



《文化財の^{さまざま}様々な守り方》

文化財の守り方には、いろいろなものがあります。

建物等では、^{じしん}地震等による^ゆ揺れに^た耐え^{とうかい}倒壊を防ぐための^{ふせ}耐震工事や、^{たいしんこうじ}火事等で^{ひがい}被害を受け^{しょうか}ないよう、^{せん}消火^{せつび}栓等の^{防火設備}防火設備を設置する工事などがあります。

美術工芸品等では、^{けいねんれっか}経年劣化による^{はそん}破損の^{ほそんしゅうふく}保存修復等を行っています。

また、^{にちじょう}災害が^{いしき}起こることを^{ひなん}日常から^{かんれん}意識して、^{かんけいしや}避難計画を立て^{避難}訓練を行う等して、日々、文化財関係者は文化財を守っています。

第68回文化財防火デーポスター

保存修復・防災訓練の例

《保存修復をしています》

開拓使等の近代行政文書である重要文化財「開拓使文書」7,832点について、破損状況を調べ、壊れ具合によって、本冊子の綴りを解く、シワ等をコテで伸ばす、虫食い等の部分を補修する、元の通りの冊子に仕上げ直す、などの修理作業を毎年計画的に行っています。

そのようにして、重要な歴史資料が後世に残るように守っています。

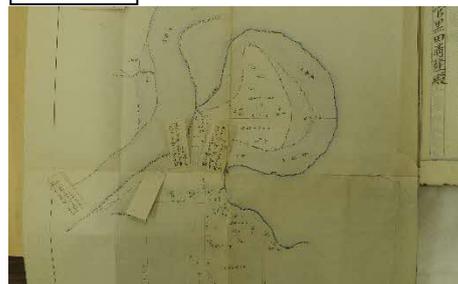


開拓使文書（一部）



確認作業中

修正前



修正後



↑シワ等を伸ばし、きれいな状態に直しています。（修復の一例）

《防災訓練も大切です》

上ノ国町にある、重要文化財「上國寺本堂」（右建物）では、文化財防火デーにあわせて、防災訓練を行っています。

昨年の1月26日に行われた防災訓練では、新型コロナウイルス感染症に留意の上、消防職員監修の下、初期消火、避難誘導訓練、重要物品の把握及び避難訓練を実施しました。

文化財に関わるみんなが協力して、いざという時に備えています。



訓練総括



煙の中での避難誘導訓練

文化財ニュースレター 文化財まる知ナビ No.56

発行 令和4年1月21日 編集・連絡先 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

【お問い合わせはこちらへ】 電話 011-231-4111（内線）35-618 メール kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp